

開講年次・時期	1年前期	授業回数		時間数	必修・選択	選択	授業形態	実習	単位数	2単位
---------	------	------	--	-----	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC320	科目名	介護実習ⅡA	担当者名	棟方な・他
授業の概要	対象利用者を決め介護計画に必要なアセスメントを実施する。施設業務に参加し介護技術を習得する。施設の機能と介護福祉士の役割を理解する。				
科目の到達目標	・対象利用者に対して共感的な態度で接し、生活背景を理解しアセスメントを行う ・介護技術を習得する				
DPの観点	④協調性20%⑤社会性20%⑥専門知識・技能40%⑧実践力20%				
授業時間外学修（予習・復習）	テキスト及び「実習の手引き」を熟読する。可能であれば自主的に施設ボランティア活動を行い施設理解に努める。予習・復習を1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	実習先の実習担当評価表を配布しスーパービジョンを行う				
単位認定の要件	施設からの実習評価表、日誌内容、巡回指導時の学習態度等を総合的に評価する。				
評価の方法・割合（％）	実習評価表60% 実習日誌20% 巡回指導記録20%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 112時間の実習を行うこと。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			【実習期間】	④⑤⑥⑧	
2			1年前期		
3					
4			【実習時間】		
5			112時間(8時間×14日間)		
6					
7			【実習場所】		
8			特別養護老人ホーム 介護老人福祉施設 養護施設 救護施設		
9			障害者支援施設		
10					
11			【実習内容】		
12			介護過程展開 施設業務理解		
13			利用者理解 介護技術習得 レクリエーション活動への参加		
14			実習日誌の作成		
15					
期末試験					

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第10巻「介護総合演習・実習」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「介護実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--